

きみにときめく

長谷川
彩

牧 田 登
辺 辺 場
人 物

スーパーの裏のベンチ。
少年がふたり座っている。

眼鏡をかけた少年（牧）。

スーパーの店員のエプロンを身に着けた少年（田辺）。
ふたりの間に、人ひとり分の間が空いている。

田辺 え、寒い？

牧 あ、ううん。全然。

田辺 ふうん。

牧 あ、ごめん、田辺君寒い？

田辺 別に。

牧 あ、そう……。

田辺 や、（指さし）アレが、風出してんじゃんね。

牧 （見て）あ、室外機。

田辺 それ。

牧 ああ。

短い間。

田辺 俺今ちよい風邪気味なんスわ。

牧 ああ。

田辺 なんか最近微妙くね？ 気温。

牧 あ、ね。

田辺 なんで。

牧 ああ。……じゃあ、中入った方が。

田辺 や、いいわ。中空気悪いし。

牧 ああ。

田辺 若い奴いねえし。（鼻で笑い）ババアばっか。

牧 （曖昧に笑い）ああ……え、いいの、お仕事。

田辺 休憩中なんで。

牧 ああ……。

間。

田辺 え、アレじゃんね。

牧 あ、はい。

田辺 (マスクを顎までずらし) 牧。苗字牧だったつしよ。

牧 あ、うん。

田辺 そうだよ、牧だよ。

牧 え、僕のこと知ってるの？

田辺 ハイ。

牧 クラス一緒になったことないよね。

田辺 ハイ。

牧 じゃあなんで僕のこと。

田辺 は？

牧 え？

田辺 (失笑し) え、何、怖。

牧 え、何が……。

田辺 え、自覚ないんスカ。

牧 え？

田辺 (鼻で笑い) 人気もんじゃないスカ、牧(一瞬言いよどみ)君。

牧 や、そんな……。

田辺 てかさつちは？

牧 え？

田辺 なんで俺知ってるの？

牧 え、あ、や。

田辺 クラス一緒になったことないスけど。

牧 や、だって、同じ学年だし。

田辺 え、覚えてんの？ 学年？ 全員？

牧 まあ。

田辺 ふうん。

牧 大体。

田辺 え、アレわかる？ うちのクラスの地味な眼鏡。

牧 え。

田辺 真ん中分けの。何だったあいつ。

牧 ああ、えっと……。

田辺 鈴木？

牧 ああ、鈴木君か！

田辺 お、わかった。

牧 もちろん。

田辺 いねえよ、ンな奴。
牧 あ、え……。

間。

田辺 え、伊達スか。

牧 え、あ……うん、あの、伊達って言うか。

田辺 悪いの。

牧 うん。

田辺 へえ。

牧 え、なんで？

田辺 や、見たことないんで。

牧 あ、うん。

田辺 かけんだなって。

牧 うん。

田辺 へえ。

間。

田辺 なんか、アレっスね。

牧 うん。

田辺 緊張スね。

牧 あ、うん。

短い間。

田辺 あ、違えわ。

牧 え？

田辺 てかアレだ。

牧 何。

田辺 なんか、ドキドキしねえ？

牧 え……。

田辺 や、なんか。

牧 うん。

田辺 や、いいわ。

牧 え？

田辺 やっぱいいわ。

牧 あ、うん……。

間。

田辺 え、なんで学校かけないんスカ。

牧 え？

田辺 目悪いのに。

牧 ああ、うん。

田辺 悪いんしょ？

牧 あの、悪いつて言うか。

田辺 悪くねえの？

牧 ちよつと、見えづらいつて言うか。

田辺 悪いつつうんじゃねえの、そういうの。

牧 あ……うん、あの、そうかな、悪いかな。

田辺 え、なんで嘘ついた？

牧 え、別に、嘘ついたんじゃ。

田辺 あ、そうなの。

牧 あの、学校はコンタクトしてて。

田辺 ああ。

牧 うん。

田辺 え、そう言やよくね？

牧 あ、うん、そうだね。

田辺 ハイ。

牧 ごめん。

田辺 や。

間。

牧 (自分の右目を指し) こっちがね。

田辺 ハイ。

牧 見えないんだけど。

田辺 ハイ。え、全然？

牧 うん。

田辺 マジで。

牧 前に、転んで。

田辺 ああ。

牧 で、今（左目を指し）こっただけで見てるんだけど、それだとこっちはっきり負担かかるでしょ。

田辺 ハイ。

牧 それで、今こっちも視力落ちてきてて。

田辺 へえ。

牧 そのうち、どっちも見えなくなるんだって。

田辺 マジスカ。

牧 っってお医者さんが。

田辺 へえ。

牧 ごめん、変な話して。

田辺 や、全然。てか大変スね。

牧 （笑って）うん、みたい。

短い間。

田辺 え、だからスカ。

牧 え？

田辺 だからやったんスカ。

牧 あ、ううん、だからってわけじゃないんだけど。なんか……。

田辺 ああ。

間。

田辺 え、あのさあ。

牧 あ、はい。

田辺 何、何だコレ。何てか、え、ドキドキしないスカ。

牧 え……それは、どういう。

田辺 や、俺、正直ちよいドキドキしたんだわ、牧（言いよどみ）君に声かけんの。

牧 あ、うん。

田辺 え、だって普通声かけなくね？ かけられんの？ てか何回目？

牧 え、ごめん、一個ずつ。

田辺 あ、スンマセン。あー……何回目？

牧 あ、あの、初めてなんだけど。

田辺 は？

牧 え？

田辺 や。

牧 何？

田辺 や、意外。

牧 え、嘘。

田辺 や、だってなんか、今すっげえ普通じゃないスカ、牧（言いよどみ）君。

牧 あ、呼び捨てで、全然。

田辺 あ、ハイ。や、何てか……や、慣れてんのかなって。

牧 そんなこと。

田辺 や、思ってた。俺が。勝手に。

牧 ……もしかして、僕今事情聞かれてる？

田辺 あ、や、全然ス。俺そういうんじゃないんで。

牧 じゃあなんで声かけてきたの。

田辺 や、なんでってか……あの、なんか、ちよいアレなんで、とりあえずいいス

か、返ししてもらって。

牧 あ、うん。

牧、鞆から猫の餌の缶詰を取り出し、田辺に渡す。

田辺、一瞬迷い、エプロンのポケットに入れる。

牧 どうするの、それ。

田辺 どうするってか、返すわな、そりゃ。

牧 いいの。

田辺 や、いってか。

牧 田辺君が盗ったって思われない？

田辺 ああ。や、わかんねえ。大丈夫じゃね？ 他の棚にあっただっつとくわ。

牧 ああ。うまいね、嘘つくの。

田辺 （鼻で笑い）そうスカ。

牧 （つられて笑い）ありがとう。

田辺 や。

間。

田辺 猫飼ってんスカ。
牧 ああ……あの、飼ってはないんだけど。
田辺 じゃなんで盗ったの。
牧 うん……。
田辺 や、いいんスけど無理なら全然。
牧 あ、ううん、無理じゃない、全然。
田辺 ああ。
牧 うん……あの、この前、公園で仔猫見つけたんだ。
田辺 ハイ。
牧 すごく小さくて、見つけた時はまだ目も開いてなかったんだけど、なんか、たぶん捨てられたんだと思う。
田辺 ああ。
牧 家で飼えたらいいんだけど、ちょっと、家は無理で……あの、ちょっと複雑って言うか。
田辺 はあ。
牧 父親がね、ちょっと、なんか暴力って言うか、あつて。本当は、目も父親なんだけど。
田辺 マジで。
牧 や、今は一緒に暮らしてないから、もう全然いいんだけど。でも、今度は母親が、あの、なんて言えいいのか、ものすごく過保護って言うか、なっちゃって。前は全然かばってくれなかったのに。
田辺 へえ。
牧 だから、あの、家がそんなだから、なんか、その猫はちゃんと育ててほしいって思っ
田辺 ハイ。
牧 ごめん、こんな言い訳なんだけど。でもお小遣いも自由に使えないし、バイトもさせてもらえないし。
田辺 ハイ。
牧 ……先週バレちゃって、塾の月謝で餌買ってるの。
田辺 ああ。
牧 それで……だから……。
田辺 そうスカ。
牧 ごめん、こんな話して。
田辺 や、全然。
牧 引くよね。

田辺 や、別に。

牧 あ、いいよ全然。言ってもらって。

田辺 や、別にス。

牧 いいよ、気つかわないで。

田辺 や、別にス、マジで。

牧 いいって本当、僕わかってるから。

田辺 え、何、引くつつた方がいいわけ？

牧 え、や……。

田辺 じゃよくね？ 俺引かねえつつてんだからそれで。

牧 ……。

田辺 でいいスか。

牧 ……うん。

田辺 ハイ。

牧 ありがとう。

田辺 や。

間。

牧 初めて話した。

田辺 へえ。

牧 絶対引かれると思った。

田辺 スか。

牧 学校じゃ絶対話せない。僕そんなキャラじゃないし。

田辺 スね。

牧、うなだれる。

牧 ……初めて話した。

田辺 ハイ。

牧 なんか、緊張してきた。

田辺 え、今？

牧 うん、なんかすごく……あ。

田辺 あ？

牧 あ、ううん。

田辺 はあ。

牧 ……あのさ。

田辺 ハイ。

牧 そっち行っている？

田辺 は？

牧 あの、ちよつとそっち寄ってもいい？

田辺 あ、ハイ。

牧、田辺の隣に移動する。

田辺 何スカ。

牧 や、近いとあつたかいかなって。

田辺 ああ。

牧 うん。

田辺 あんま変わんないんじゃないスカ。

牧 ……違った。

田辺 スカ。

牧 緊張じゃなかった。

田辺 は？

牧 ……なんか、ドキドキしませんか。

田辺 ……ああ。

牧 よかった。

田辺 ……。

牧 見つかったのが、田辺君で。

田辺 ……。

牧 よかった。

田辺 ……俺あんたじゃなかったら声かけてねえよ。

牧 え？

短い間。

田辺 あ。

牧 え。

田辺 あんまこつち寄らない方がいいスよ、俺風邪気味なんで。

牧 え、ああ。

田辺 ハイ。

牧 そっか。
田辺 ハイ。

牧、元いたところに戻る。

田辺 うつしたらسنマセン。

牧 ううん、それは、全然。

田辺 時間いいんスカ。

牧 え、あ、うん。

田辺 ふうん。

牧 田辺君は？

田辺 まだいいス。

牧 ごめん、引き止めちゃって。

田辺 や。どっちかつつたら俺じゃね？

牧 でも僕のがしゃべってるし。

田辺 ああ、スね。

牧 ごめんね、つまんない話ばっかで。

田辺 や、楽しいスよ。

牧 え。

田辺 ハイ。

牧 え、楽しいの？

田辺 悪いスカ。

牧 や、ううん、あの、田辺君全然顔変わらないから。

田辺 سنマセン、元からス。

牧 あ、や、あの、あんまり笑わないから、楽しいって思うんだなって。

田辺 俺割と笑ってっけど。

牧 え、嘘。

田辺 や、結構笑う方ス。

牧 見たことない。

田辺 スか。

牧 えー、見たいなあ。

田辺 俺こないだもすっげえ笑って。

牧 え、いつ？

田辺 や、マジこないだ。

牧 え、なんで？

田辺 聞く？
牧 聞きたい。
田辺 俺兄貴いるんすけど。
牧 へえ、いくつ？
田辺 四つ上。
牧 だと。
田辺 四年。けど中退。
牧 ああ。
田辺 いいんすけど、それは。よかねえけど。で、兄貴彼女いるんすけど、その女が、なんかすげえんすわ。
牧 何が？
田辺 なんか、どつかのハーフで帰国子女とか言って、モデルやってて元カレ芸能人だっつってて。
牧 へえ、すごい。
田辺 じゃんね。俺兄貴すげえいい女と付き合ってたなって思って。で、前家来て。
牧 彼女が？
田辺 が。したらなんか、うちの親も一緒に。
牧 うん。
田辺 なんかぼいじゃんね。何、挨拶的な。
牧 うん。
田辺 兄貴いよいよかつつて。で、俺部屋の外で聞いてたんすけど。したら、なんか兄貴泣いてて。
牧 え、ああ。
田辺 嬉しくて的な？
牧 うん。
田辺 つつて。思って。思うっしょ。
牧 うん。
田辺 謝ってるの。
牧 え？
田辺 なんか謝ってるの兄貴。や、泣いてっからよくわかんねえんだけど、まあ謝ってんすわ。
牧 うん。
田辺 まあ、要はアレっす、兄貴その女レイプしたんす。
牧 え……。

田辺 や、付き合ってるつつって、女その気じゃねえのに兄貴勘違いしてたつうことらしくて。

牧 ……。

田辺 で、女病んで、トラウマになったつつって、あっちの親マジギレして兄貴訴えるつつってて。

牧 ……。

田辺 その女、兄貴に人生めっちゃくちゃにされたつつって、どうしてくれんだつつってて。兄貴マジ泣きしてて何言ってるのか全然わかんねえし。なんか親土下座してるし。

牧 ……。

田辺 俺マジでビビって。親の土下座見るとか思わないじゃないか。てか兄貴がンなことすんのにビビって。てか兄貴すげえんすよ。俺と全然違えんすよ。頭とか性格とかめっちゃよくて、親兄貴にすげえ期待してて、てか俺マジで兄貴尊敬とかしてたし。親なんかより全然。

牧 ……。

田辺 なのに、兄貴レイプしてマジ泣きして親土下座させてんの。なんか…俺ビビって、なんか…。

牧 ……。

田辺 で、俺そんな時初めて女の顔見て、あ、てかどんな女だと思う？

牧 え、どんなって…。

田辺 普通なんす。

牧 え…？

田辺 普通。マジ普通。アレでモデルとか無理スわ。てか普通に日本人だし。もうブス出てきた方がマジじゃね？ ってくらい、マジ普通。

牧 ……。

田辺 で、俺思ったんだ。この女嘘言ってるなって。

牧 嘘…。

田辺 嘘なんす。兄貴やってなかったんす。てかその女ハーフじゃねえし帰国子女じゃねえしモデルでもなかったんすわ。

牧 え、なんで、そんな嘘。

田辺 そこなんす。調べたら、その女兄貴にしたのと同じこと他の男にもしてたんだ、わかっただけで二人。で、そのうち一人が名誉棄損？ 的なやつで逆に女訴えてんだけど、コレ不起訴になってんの。

牧 なんで。

田辺 本気だったんす。

牧 え？

田辺 その女、全部本当だと思ってんの。自分はハーフでモデルやってレイプされたって、マジで思ってたの。

牧 ……。

田辺 イカれてたんすわ、その女。

牧 ……。

田辺 全部後から調べてわかって。親すぐ兄貴んとこ行って教えたんすけど、遅かったわ。

牧 え？

田辺 兄貴結婚すんの、その女と。

牧 ……。

田辺 兄貴大学辞めて今女と暮らしてんすけど、こないだ久々会って。したらマジビビった、ガリツガリに痩せてんの。

牧 ……。

田辺 こっちが何か言っても返事しねえし、全然目合わねえし、もう女の言いなりなんす。親が帰ろうつつつてんのにさ、兄貴拒否んだよね。

牧 ……。

田辺 連れて帰りにえけどさ、無理なんだわ、兄貴が戻んねえつつつてんだもん。大の男が自分で戻んねえつつつてんだもん、おかしいのわかってんのに。

牧 ……。

田辺 兄貴の隣で、女めっちゃ笑顔で。

牧 ……。

田辺 たぶん兄貴もう元戻んねえわ。

牧 ……。

田辺 もうね、無理なんすわ。

牧 ……。

田辺 それ見てたら俺、たまんなくて…。

牧 うん…。

田辺 もうさ…。

田辺、肩を震わせていたが、次第に笑い出す。

田辺 たまんねえの。

牧 ……。

田辺 兄貴こんなにしていて、この女平気な顔してんだって思ったら、俺…。。や、

普通スよ、全然普通なんだけど、なんか俺、すげえドキドキしたんだ。これが人ひとりぶっ壊した女なんだって思ったら、俺たまんなくて……。

牧 ……。

田辺 でき、俺気いついたんだ。

牧 何。

田辺 あんた、その女と同じ感じすんだよね。

田辺、牧を見て笑う。

牧、田辺を見つめる。

田辺 え、どつから嘘スか。

牧 全部。

田辺 あ、全部スか。

牧 (眼鏡を外し、しまいながら) 視力は両目とも1.0くらい。両親は割と仲いい方だと思うよ。結構甘やかされて育ったかな。

田辺 猫は？

牧 猫？ あ、野良猫？ いないよ。

田辺 へえ。

牧 よく気づいたね。

田辺 スね。(缶話を取り出しながら) てかなんでコレにしたの。

牧 別に。なんとなく。

田辺 ふうん。一応コレ犯罪スけど。

牧 だから？

田辺 や、悪いとか思うのかなって思っつて。

牧 あ、思うの？ 田辺君。

田辺 あんたよりはね。

牧 へえ、意外といい子だね。

田辺 あんたよりはね。

牧 じゃあ、どうしようか。

田辺 何がスか。

牧 やっぱりお金かな。月に一、二万くらいでいいなら、適当に親言いくるめてくるけど、まとまってる方がいいならちよつと待ってもらえると助かるな。

田辺 あ、別に脅す気ないス。

牧 あれ、こういうのって普通脅すもんじゃないの？

田辺 普通はよくわかんねえけど、まあそんな気すんね。

牧 せっかく弱み握ったんだから、有効に使ったら？

田辺 弱みスか。

牧 そうでしょ？

田辺 証拠は？

牧 は？

田辺 あんたが盗ったつう証拠。

牧 何言ってるの、見てただろ？

田辺 ハイ。でも今あんた何も持ってねえし、見たの俺だけだし。

牧 防犯カメラは？

田辺 あるけど？

牧 見てみれば？

田辺 俺が言ってるのはさ、あんたが自分の意志で万引きしたつう証拠。

牧 は？

田辺 今ならいくらでもしらばっくれれんだろ。田辺君に盗ってこいって言われたつうって泣いたりとかさ。

牧 そんなことすると思ってるの？

田辺 しねえと思ってるのか思ってるの？

牧 (笑って) ひどーい、田辺君。

田辺 まあ、それだけ突き出せつつってくるってことは、よっぽど自信あるんスね。俺とあんた、周りがどっち信じるか。

牧 ……。

田辺 俺もそこまでバカじゃねえんだわ。

牧 そうみたいだね。

田辺 わざわざ来てもらって悪いけど、当て外れたんじゃないスか。

牧 本当。もっとバカだと思ってた。

田辺 スンマセン、割と出来んスよ。

牧 つまんないの。退学にでもなればよかったのに。

田辺 残念した。

牧 次はもっとうまくやるよ。

田辺 がんばってください、牧(言いよどみ)君。

牧 呼び捨てでいいって言ってるんだろ。

田辺 あ、ハイ。

牧 それで？

田辺 ハイ。

牧 目的は？

田辺 何がスカ。

牧 そこまでわかかってるなら、僕とは関わりたくないはずだね。なのにわざわざネタばらしまでして、何か目的があるんだろ？

田辺 や、ないスけど。

牧 あ、もういいからそういうの。ここまで付き合っただけだからさ、さっさと言ってくれないかな。

田辺 や、俺さっきから言ってるんすけど。

牧 は？

田辺 だから、俺今ドキドキしてるの。

牧 ……。

田辺 あんた、あの女と同じ感じすんの。だからなんか、ドキドキっちゃうか……ドキドキも違えな。何だ。

牧 ……。

田辺 ……ああ、ゾクゾクすんだ。あんた、すっげえゾクゾクする。

牧 ……病気じゃない？

田辺 だから言ってるんじゃないスカ、俺、今風邪気味なの。

牧 ……そうだったね。

田辺 一個だけいいスカ。

牧 何？

田辺 まきちちゃんって呼んでいい？

牧、一瞬固まり、笑い出す。

牧 えー、絶対やだー。

田辺 やっぱな。でも勝手に呼ぶんで。

牧 やめろよ、気持ち悪い。

田辺 たまんねえな。

猫の鳴き声。

ふたり、そちらを見る。

田辺 この辺野良多いんすわ。

牧 ねえ、さっきの返して。

田辺 あんたのじゃねえだろ。

牧 君のでもないだろ。

田辺、ポケットから猫の餌の缶詰を取り出し、牧に渡す。
牧、ふたを開け、地面に置く。

少し離れたところでしゃがみ込み、様子を見る。

田辺 好きなんすか。

牧 ……小学生の頃、クラスでハムスター飼ってたんだ。

田辺 ハイ。

牧 アレすぐ死ぬんだよ。

田辺 ……。

牧 ねずみって弱すぎるよね。でも犬はちよつと難しいでしょ。野良犬少ないし、
飼いだじゃリスク高いし。

田辺 ……。

牧 猫はいいよ、大きさも弱さも。だから、ちよつと好き。

田辺 ……カワイイ。

牧、鼻で笑い、立ち上がる。

牧 僕も田辺君の呼び方変えようかな。

田辺 何、まきちゃん。

牧、田辺を見て、にやつきながら。

牧 この変態。

田辺、一瞬固まり、狂ったように笑う。

終わり